

『愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻
動物行動学/愛玩動物学/比較動物学』（改訂第 2 版第 2 刷）
訂正とお詫び

掲載記事中、以下の記述に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様および関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press

2025 年 12 月 4 日

頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正
p. 52	動物行動学 第 3 章 社会行動	威嚇および服従の行動様式 本文右段 上から 4 行目	敵対的行動	敵対行動
p. 57	動物行動学 第 4 章 行動発現のしくみ	ローレンツの心理力学モデル 本文左段 下から 1 行目	接触行動	摂食 行動
p. 90	動物行動学 第 5 章 行動の発達と学習	図 1-5-6 オペラント条件づけの強化と罰	図内 A 正の強化（ほめる） 行動は増加（ボールを取ってくる行動が増える） B 正の罰（叱る） 行動は減少（靴をかじることが減る） C 負の罰（よいもの[おやつ]がなくなる） 行動は減少（「オスワリ」の合図に従わない頻度が減る[＝従う頻度が増える]）	図内 A 正の強化 行動は増加 B 正の罰 行動は減少 C 負の罰 行動は減少 D 負の強化 行動は増加 ※別紙より修正後の図を

			D 負の強化（嫌な[怖い]侵入者が去る） 行動は増加（侵入者に対してより吠えるようになる）	ご確認ください。
p. 218	愛玩動物学 第3章 血統と血統書	犬・猫の血統書の歴史 本文右段 下から15行目	続いて1984年には、	続いて1884年には、
p. 231	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	キーワード	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 236	愛玩動物学 第4章愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	右段上から15行目	尾羽が体調の半分程度を占める。	尾羽が体長の半分程度を占める。
p. 237	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	4. 飼養管理 ここがPOINT 上から2行目	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 238	愛玩動物学 第4章愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	右段上から2行目	経済動物である肉養鶏では	経済動物である肉用鶏では
p. 238	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	セキセイインコの場合 本文右段 下から1行目（赤い文字）	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 239	愛玩動物学 第4章	セキセイインコの場合	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー

	愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	本文左段 下から 7 行目		
p. 239	愛玩動物学 第 4 章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	オカメインコの場合 本文右段 下から 2 行目	カロリー：タンパク比は 62.5g/cal となる。	タンパク質/エネルギーは 62.5g/Mcal となる。
p. 239	愛玩動物学 第 4 章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	表 2-4 - 1 1 行目	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 239	愛玩動物学 第 4 章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	表 2-4 - 1 2 行目	最小 (g/cal) 最大 (g/cal)	最小 (g/Mcal) 最大 (g/Mcal)
p. 240	愛玩動物学 第 4 章愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	左段上から 1 行目	仮にエネルギーがそのまま タンパク質要求量の10～13% だとすると、	仮にエネルギーがそのまま で タンパク質要求量 を 10～ 13%とすると、
p. 240	愛玩動物学 第 4 章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	オカメインコの場合 本文左段 上から 3 行目	カロリー：タンパク比は31 ～41g/calとなり、	タンパク質/エネルギーは31 ～41g/Mcal となり、
p. 240	愛玩動物学 第 4 章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	栄養要求量の決定方 法の結論 本文左段 下から 16 行目	手順 2 カロリー：タンパク比	手順 2 タンパク質/エネルギー

p. 241	愛玩動物学 第 4 章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	ビタミンの添加 本文左段 上から 10 行目	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 242	愛玩動物学 第 4 章愛玩 鳥の特徴・ 生態・飼養 管理	左段下から 2 行目	ヒエでそれぞれ311kcal/kg と9.3%、アワで307kcal/kg と9.9%	ヒエでそれぞれ 311kcal/100gと9.3%、アワ で307kcal/100gと9.9%
p. 242	愛玩動物学 第 4 章愛玩 鳥の特徴・ 生態・飼養 管理	右段上から 1 行目	総エネルギー量は平均で約 3,800kcal、	総エネルギー量は平均で約 380kcal/100g、
p. 244	愛玩動物学 第 4 章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	演習問題 問 2 F	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 246	愛玩動物学 第 4 章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	解答 問 3 下から 2 行目	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 327	愛玩動物学 第 11 章動物 の基本的な 取り扱い	左段上から 16 行目	下肢粘膜の蒼白	可視粘膜の蒼白
p. 362	比較動物学 第 1 章 産業動物 6. 牛に多 い疾病 乳房 炎	本文右段 上から 4 行目	乳頭を刺激すると脳下垂体 前葉からオキシトシンが～	乳頭を刺激すると下垂体後 葉からオキシトシンが～

p. 446	比較動物学 第 1 章 産業動物 第 1 章 6 鶏	図 3-1-6-5 鶏の消化器 図の解説文	7. 空腸	7. 回腸
p. 449	比較動物学 第 1 章 産業動物 鶏	4. 飼養管理 ここが POINT 2 行目	ブロイラーは平飼い、採卵 鶏は福祉ケージが基本であ る。	ブロイラーは平飼い、採卵 鶏は 現状、ケージ飼いが主 流である。
p. 450	比較動物学 第 1 章 産業動物 鶏	飼育方法	ブロイラーの飼育は平飼 い、採卵鶏は基本的に止ま り木、砂浴び場、産卵巣箱 （場所）をもつ福祉ケージ （エンリッチドケージ）が 主であるが、放し飼いによ る付加価値をつけた鶏卵を 扱う養鶏場も増えている。	ブロイラーの飼育は平飼 い、採卵鶏は止まり木、砂 浴び場、産卵巣箱（場所） をもつ福祉ケージ（エンリ ッチドケージ）が動物福祉 に配慮した方式として登場 したが、現状は各ガイドラ インに沿った飼育密度での ケージ飼育が主流である。 放し飼いによる付加価値を つけた鶏卵を扱う養鶏場も 存在する。
p. 450	比較動物学 第 1 章 産業動物 鶏	飼育方法 CHECK ! 品種と飼育方式 下から 1 行目	・採卵鶏：福祉ケージ	・採卵鶏： ケージ飼い
p. 454	第 1 章 6 鶏 演習問題	問 2	現在行われている鶏の飼育 方式がすべて記されている ものとして、正しいのはどれ か。 ① 福祉ケージ、ケージ飼い ② 福祉ケージ、庭飼い ③ 福祉ケージ、ケージ飼い、 平飼い ④ 福祉ケージ、放し飼い	現在行われている鶏の 飼育 方法として、誤っている のは どれか。 ① ケージ飼い ② 平飼い ③ 福祉ケージ ④ 放し飼い ⑤ 脚皮での紐による固定飼 い

			⑤ 福祉ケージ、ケージ飼い、庭飼い	
p. 455	第 1 章 6 鶏 演習問題 解答	問 2	<p>正解③</p> <p>福祉ケージ、ケージ飼い、平飼い</p> <p>ブロイラーの飼育は平飼い、採卵鶏は基本的に福祉ケージ（止まり木、砂浴び場、産卵巣箱〔場所〕をもつ）が主である。</p>	<p>正解⑤</p> <p>脚皮での紐による固定飼い</p> <p>ブロイラーの飼育は平飼い、採卵鶏は基本的にケージ飼育が主流であるが、放し飼いによる付加価値を付けた鶏卵を扱う養鶏場も増えている。また、近年ではヨーロッパではアニマルウェルフェアに配慮した飼育でなければ許可されなくなっており、エジンバラ大学が、鶏が本来行いたいであろう行動を行えるように設計した福祉ケージを発表した。</p>
p. 476	比較動物学 第 2 章 実験動物 第 2 章 1 実験動物学 総論	動物実験の結果を左右するもの 本文左段 下から 15 行目	$R = (A+B+C) \times D + F$	$R = (A+B+C) \times D + E$
p. 530	第 2 章 実験動物学 演習問題	問 2 選択肢②	②実験動物の基本体系を構築したのはフランスのクロード・ベルナードである。	②実験動物の基本体系を構築したのはフランスのクロード・ベルナールである。

	提示操作	除去操作
報酬刺激	A 正の強化 行動は増加 	C 負の罰 行動は減少 
嫌悪刺激	B 正の罰 行動は減少 	D 負の強化 行動は増加 

図1-5-6 オペラント条件づけの強化と罰
オペラント条件づけの結果として行動が増加することを強化、逆に減少することを罰と呼び、それぞれ提示か除去かという操作の違いにより、正と負に分類される。